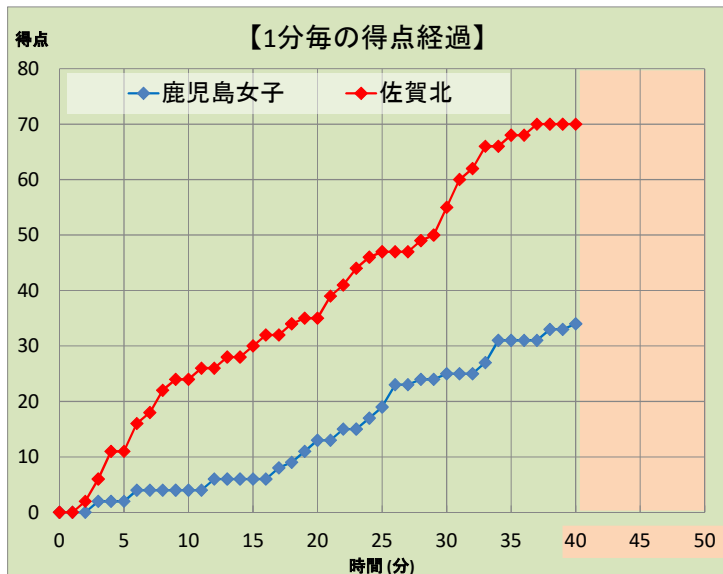


第49回全九州高等学校バスケットボール春季選手権大会



会場	福岡市総合体育館	
日時	平成31年3月23日 (土) 9:00	
コート	Cコート	第1試合
カテゴリー	女子	1回戦
主審	副島 亜紀子	
第1副審	川島 司	
第2副審	古賀 日花里	

TEAM A			TEAM B		
鹿児島女子	34		70	佐賀北	
鹿児島1位				佐賀2位	
		4 1st 24 9 2nd 11 12 3rd 20 9 4th 15 OT			
		●	○		

【BOXスコア】

TEAM A		鹿児島女子高等学校				
番号	選手名	得点	3P	2P	FT	反則
4	加藤 桃子	○ 4		2		1
5	三島 佑果	○ 4		2		2
6	武田 奈々	10		3	4	1
7	酒井 絢菜	○ 4		2		3
8	白石 悠夏	7		3	1	1
9	堂蘭 愛	○ 3		1	1	4
10	畠田 優花	○ 2			2	3
11	室屋 萌	0				
12	伊瀬知 愛菜	0				
13	森山 梨愛	0				
14	有田 ひかり	0				
15	佐保 奈那美	0				
16	末永 詩歩	0				
17	稲留 媛加	0				
18	山本 彩花	0				
コーチ	福崙 博之					
合計		34	0	13	8	15

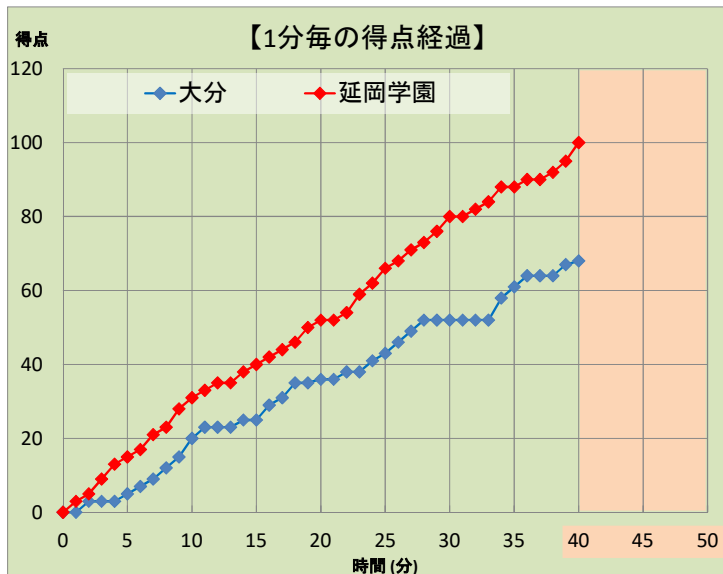
TEAM B		佐賀北高等学校				
番号	選手名	得点	3P	2P	FT	反則
4	水田 優衣	2		1		2
5	迎 世里那	10	1	3	1	2
6	大島 萌花	12	2	3		2
7	山田 莉紗	○ 12		6		
8	江原 光泉	○ 17	1	5	4	2
9	永淵 奈美季	0				2
10	早田 菜乃佳	○ 8		4		2
11	畑島 鈴	2			2	
12	古賀 春妃	○ 4		2		1
13	徳島 華	0				1
14	陣内 優	0				
15	西岡 希咲	○ 3			3	
16	今村 祭里	0				
コーチ	中島 耕一					
合計		70	4	24	10	14

【戦評】

全九州大会1回戦、鹿児島県1位鹿児島女子対佐賀県2位佐賀北との対戦、鹿児島女子のスターティングメンバーは、#4、#5、#7、#9、#10、佐賀北のスターティングメンバーは、#7、#8、#10、#12、#15で試合開始。第1Q、鹿児島女子のハーフコートマンツーマンに対し、佐賀北はオールコートマンツーマンでスタート。オールコートでのプレッシャーが功を奏し、佐賀北が11対2のリードをしたところで4分半、鹿児島女子最初のタイムアウト。その後もダブルチームからのブレイクなど、ディフェンスでリズムを作った佐賀北が24対4とリードを広げ第1Q終了。第2Q、反撃したい鹿児島女子だがなかなかフィールドゴールが決まらない。一方、佐賀北は速攻、インサイド、アウトサイドとバランスのとれた攻撃で得点を重ねる。終盤、鹿児島女子がターンオーバーから2本の速攻を決め、35対13で前半終了。第3Q開始早々、佐賀北#12、#8のショットが決まり好スタート。鹿児島女子も#9スティールからのレイアップで応戦。佐賀北が引き続きオールコートでプレッシャーをかけ続けると、鹿児島女子は反撃の糸口をなかなか見つけられず55対25で第3Q終了。第4Q、佐賀北#5の3ptsでスタート。佐賀北はディフェンスの手を緩めず、ダブルチーム、その後のローテーションも確実にいき、鹿児島女子のターンオーバーを誘発し続けた。70対34で試合終了。力強いディフェンスと確実なリバウンドで佐賀北が終始優位に試合を進めた。

【戦評記者】 三好 洋一郎
福岡県バスケットボール協会

第49回全九州高等学校バスケットボール春季選手権大会



会場	福岡市総合体育館	
日時	平成31年3月23日 (土) 9:00	
コート	Dコート	第1試合
カテゴリー	女子	1回戦
主審	山中 萌衣	
第1副審	篠原 正則	
第2副審	萩原 春乃	

TEAM A		TEAM B	
大分	68	100	延岡学園
大分2位			宮崎1位
●			○

20 1st 31

16 2nd 21

16 3rd 28

16 4th 20

OT

【BOXスコア】

TEAM A		大分高等学校					
番号	選手名	得点	3P	2P	FT	反則	
4	有墨 遥野	◎ 15		7	1		
5	牧 唯夏	○ 0				1	
6	成松 朋華	3	1			1	
7	水田 七葉	0					
8	奈須 彩乃	○ 8	2	1		4	
9	永松 美咲	0					
10	秋吉 楓	○ 19	4	2	3	2	
14	山田 晶	○ 23	6	2	1	1	
コーチ		楠本 哲二					
合計		68	13	12	5	9	

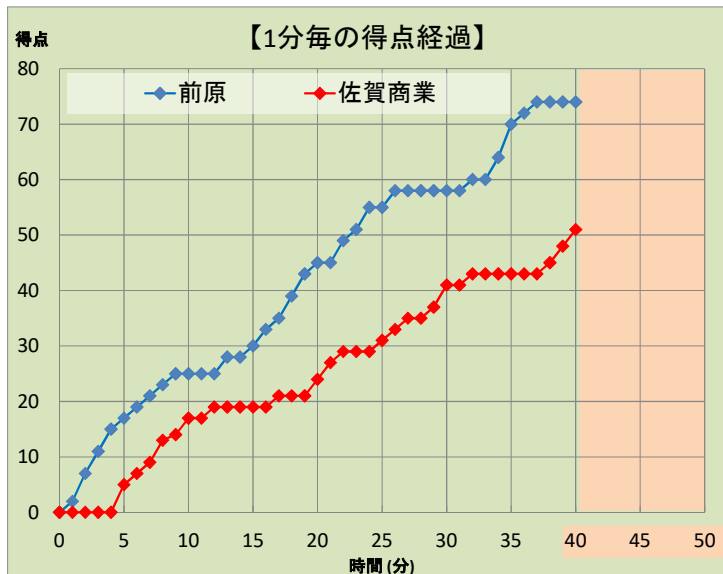
TEAM B		延岡学園高等学校					
番号	選手名	得点	3P	2P	FT	反則	
4	佐藤 亜美	0					
5	デンベル サナタ	14		7		1	
6	谷ノ口 陽菜	6	2				
7	笹栗 圭夏	○ 4		2		1	
8	甲斐 心温	○ 7	2		1	2	
9	岩切 陽菜	6		1	4	1	
10	慎野 綾乃	◎ 5	1	1		1	
11	柳田 蘭	0				1	
12	河野 すみれ	0					
13	塩月 絢音	○ 11	3	1		1	
14	西野 彩音	0				1	
15	ムボムボ ムロロ ファーロン	○ 47		20	7		
16	平田 遥香	0					
17	甲斐田 春姫	0				1	
18	米倉 菖乃	0				1	
コーチ		内村 昌弘					
合計		100	8	32	12	11	

【戦評】

全九州大会1回戦、大分県2位大分対宮崎県1位延岡学園の対戦、大分のスターティングメンバーは、#4、#5、#8、#10、#14、延岡学園のスターティングメンバーは、#7、#8、#10、#13、#15で試合開始。第1Q、まずは延岡学園が#8の3ポイント、#7の速攻でリズムを作る。その後#15がオフェンスリバウンドから確実にゴール下を決め点差を広げる。対する大分は#14の3ポイントを中心に、#4、#8、#10のミドルで得点を重ねるが第1Q終了間際、延岡学園#10と#13の連続3ポイントが決まり、20-31と延岡学園が11点リードで第1Q終了。第2Q、大分は延岡学園#15へのプレッシャーを強めアーリーオフェンスから少しずつ点差を縮めようとする。一方延岡学園は#15が引き続きゴール下で優位を保つ。大分のファウルが重なったこともあり、フリースローも含めて前半で31得点の大活躍を見せる。36-52と延岡学園がリードを16点に広げ前半終了。第3Q開始早々、大分が延岡学園#15へのパスをカットし#4の速攻につなげ先制点を挙げる。その後も積極的にオフェンスリバウンドをに飛び込み#8、#10、#14の3ポイントで追い上げる。対する延岡学園は#15のゴール下に加えて#13の連続得点でリードを広げ第3Qは52-80で終了。第4Q序盤大分はディフェンスのプレッシャーを強め速攻に持ち込むもフィニッシュが決まらず苦しい展開に。それでも#8、#10、#14の3ポイントでなんとか食らいつく。延岡学園は外角のシュートに対する厳しいチェックと途中交代の#5がゴール下で踏ん張り簡単には追いつかせない。リードを守った延岡学園が68-100で勝利。大分は粘り強いディフェンスと確率の高い3ポイントで追い上げたが終始インサイドで優位を保った延岡学園が2回戦へ駒を進めた。

【戦評記者】 増永 洋祐
福岡県バスケットボール協会

第49回全九州高等学校バスケットボール春季選手権大会



会場	福岡女子高等学校	
日時	平成31年3月23日 (土) 9:00	
コート	Gコート	第1試合
カテゴリー	女子	1回戦
主審	武田 隆博	
副審	福田 彬宏	

TEAM A			TEAM B		
前原	74		51	佐賀商業	
沖縄3位				佐賀4位	
○				●	

25	1st	17
20	2nd	7
13	3rd	17
16	4th	10
OT		

【BOXスコア】

TEAM A		前原高等学校					
番号	選手名	得点	3P	2P	FT	反則	
4	中山 葵葉	◎ 16	1	6	1		
5	伊波 海咲	0					
6	田本 萌	○ 2		1			
7	島袋 葵衣	0					
8	島村 涼子	0				1	
9	金城 茉莉亜	○ 19	3	5		2	
10	兼島 藍	4		2		2	
11	長濱 眞子	○ 17	1	6	2	3	
12	饒平名 紗也乃	0					
14	安里 桃花	0					
15	新垣 そら	0					
16	国吉 涼菜	0					
18	渡口 明奈	0					
20	中村 玲菜	0				3	
21	宮里 築	○ 16		8		3	
コーチ	喜久山 泰司						
合計		74	5	28	3	14	

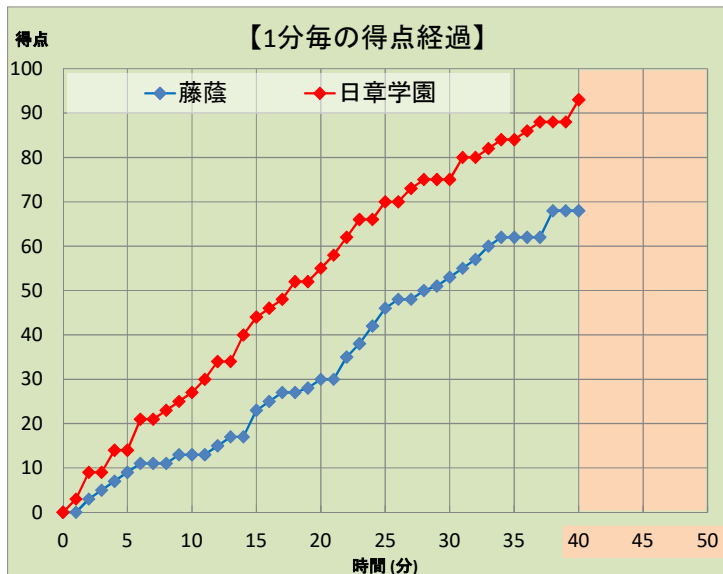
TEAM B		佐賀商業高等学校					
番号	選手名	得点	3P	2P	FT	反則	
4	北見 瑠花	◎ 11	1	4			
5	片淵 珠那	0					
6	高祖 愛結	0					
7	田中沙耶香	0					
8	水田 愛彩	○ 12		4	4	3	
9	堀越 可恋	0					
10	雪竹 亜美	0					
11	矢野 春奈	0					
12	江越 彩花	0					
13	松村 芽依	4		1	2	1	
14	古井 陽	0					
15	福島 怜南	○ 16	4	2		2	
16	森 千紗季	○ 8		3	2		
17	定松 和花	0					
18	松尾 理紗	○ 0				1	
コーチ	江頭 徳親						
合計		51	5	14	8	7	

【戦評】

全九州春季大会1回戦、沖縄県3位 前原高校 対 佐賀県4位 佐賀商業高校 との対戦、前原のスターティングメンバーは、#4、#6、#9、#11、#21、佐賀商業のスターティングメンバーは、#4、#8、#15、#16、#18で試合開始。すぐさま#6シュートインで始まる第1Q～1分ほどで9対0で前原リード。佐賀商業、最初の2分過ぎたところでタイムアウト。佐賀商業ゾーンディフェンスに変え守りに入る。しかし、4分経過で15対0。佐賀商業#15の3Pでオフェンスも調子を取り戻す。佐賀商業マンツーマンディフェンスに戻し機能し始める。#15の3Pで差を詰めるが1Q終了は25対17で前原リード。第2Q～開始早々6点差まで佐賀商業詰める。始まって2分過ぎで前原タイムアウト。佐賀商業は、2-3のゾーンディフェンスに変え、ドライブがはじめからよく決まり攻防が続く。前原45対佐賀商業24で前半終了。第3Q～佐賀商業前半スタメンと同じ前原#9に変わり#20が出て始まる。佐賀商業は2-3ゾーンで前原は依然マンツーマンで後半始まる。2分過ぎたところ20点差になり佐賀商業タイムアウト。タイムアウト後前原オールコートゾーンプレスでプレッシャーをかける。また、佐賀商業もオールコートゾーンで防御。前原のミドルショットが安定し、差が詰まらない。前原#9の3Pが入り差が広がります。身長に勝る佐賀商業のセンター#16、#18はリバウンドはいいところで保持する。しかし、ゴールを狙うがリングから嫌われる場面が続く、佐賀商業#16ハイポストからのシュートが決まります。第3Q終わり58対41で依然前原リード第4Q～出だしに佐賀商業#4インターセプトからの速攻が決まり前原すかさずタイムアウト。佐賀商業残り5分でオールコートディフェンスで追い上げをみせたが点差23点で試合終了。終始リードを守った前原が勝利。前原#4と#9のシュートの正確性とドライブが光った試合だった。

【戦評記者】 内田 二郎
福岡県バスケットボール協会

第49回全九州高等学校バスケットボール春季選手権大会



会場	福岡女子高等学校	
日時	平成31年3月23日 (土) 9:00	
コート	Hコート	第1試合
カテゴリー	女子	1回戦
主審	甲木 善徳	
副審	梶井 宏一	

TEAM A		TEAM B	
藤蔭	68	93	日章学園
大分4位			宮崎3位
●			○

【BOXスコア】

TEAM A		藤蔭高等学校					
番号	選手名	得点	3P	2P	FT	反則	
4	尾上 里歩	0					
5	杜 星蓉	0					
6	相島 光里	9		4	1	1	
7	三原 佳純	14		4	6	4	
8	藤瀬 朱李	2		1			
9	田中 美佑	24	2	8	2		
10	中村 結衣	0				1	
11	東 ゆかり	4		1	2	1	
12	寺崎 愛莉	15		6	3	3	
コーチ		芦川 尚子					
合計		68	2	24	14	10	

TEAM B		日章学園高等学校					
番号	選手名	得点	3P	2P	FT	反則	
4	小八重 美桜	38	6	8	4		
5	日高 ひまり	12		5	2	1	
6	弓削 綾香	2		1		3	
7	井上 里咲子	8	2	1		3	
8	佐藤 梨里香	4		2		3	
9	平部 千夏	0				1	
10	岩川 星詩流	10		5			
11	北原 陽代	7	1	2		3	
12	山内 陽菜理	0					
13	一政 帆海	3	1			3	
14	山元 玲羅	0					
15	坂本 萌笑	4		2			
16	吉田 陽向	5	1	1		2	
17	稲田 真奈	0					
18	吉原 乃彩	0					
コーチ		小島 亜紀子					
合計		93	11	27	6	19	

【戦評】

全九州大会Bパート1回戦、大分県4位の藤蔭対宮崎県3位の日章学園との対戦、藤蔭のスターティングメンバーは、#6、#7、#9、#11、#12、日章学園のスターティングメンバーは、#4、#6、#10、#11、#13で試合開始。第1Q両チームともハーフコートのマンツーマンディフェンス。序盤、日章は#4の3ptsやミドルシュート、アシストによって得点を重ねる。対する藤蔭は#9の3ptsやオフェンスリバウンドからのシュートで得点するが、日章のディフェンスに苦戦する。日章はその後スクリーンを効果的に利用したオフェンスなどで得点を重ね、27-13の日章リードで第1Q終了。第2Q、藤蔭は#6のミドルシュートや#9のゴール下などで対抗するが、日章は堅い守りからの速攻や#4のシュート、アシストなどで着実にリードを広げていく。スコアが42-19となった前半残り5分で流れを断ち切ろうと藤蔭がタイムアウトをとり、その後は両チーム得点を重ね、55-30の日章リードで前半を終えた。第3Q序盤、藤蔭が#9の3ptsやローポストで得点すれば、日章は#4がこの試合6本目の3ptsを決めるなど点の取り合いに。お互いに1つずつタイムアウトを取り合ったあと、残り4分弱のところ日章はディフェンスをオールコートマンツーマンに切り替え、引き離しにかかるが、藤蔭も相手のチームファウルから得たフリースローなどで得点し、75-53で第3Qを終えた。第4Q、藤蔭は#12、#9のオフェンスリバウンド、ポストプレイなどゴール下からのシュートを中心に攻めていく。残り2分30秒、桐蔭はオールコートディフェンスでプレッシャーをかけ、点差を縮めようと試みるが、日章も相手のディフェンスを巧みにかわし、主導権を渡さない。最終スコア93-68で試合終了、日章学園が勝利した。お互いに激しいディフェンスでぶつかり合う、見ごたえのあるゲームであった。

【戦評記者】 飯田 啓介
福岡県バスケットボール協会

第49回全九州高等学校バスケットボール春季選手権大会



会場	福岡市総合体育館	
日時	平成31年3月23日 (土) 10:30	
コート	Cコート	第2試合
カテゴリー	女子	1回戦
主審	大久保 好純	
第1副審	金岩 貴之	
第2副審	山口 健人	

TEAM A			TEAM B		
精華女子	87		51	糸満	
福岡1位				沖縄2位	
○				●	

27	1st	10
26	2nd	12
20	3rd	6
14	4th	23
OT		

【BOXスコア】

TEAM A		精華女子高等学校				
番号	選手名	得点	3P	2P	FT	反則
4	樋口鈴乃	○ 16		8		1
5	屋宜沙弥香	0				2
6	木村瑞希	○ 27		10	7	3
7	三浦舞華	○ 10		5		1
8	吉原陽世	6		3		
9	嵐 夏妃	2		1		1
10	仲真華子	4		1	2	2
11	齊藤風香	○ 4		2		2
12	松尾優希	2		1		
13	徳永 夏	5	1	1		1
14	中園陽菜乃	○ 9		4	1	1
15	高木愛華	0				2
16	岡田ひまわり	2			2	
17	野田みどか	0				1
18	田川菜津希	0				
コーチ	大上晴司					
合計		87	1	36	12	17

TEAM B		糸満高等学校				
番号	選手名	得点	3P	2P	FT	反則
4	屋比久 るい	11		4	3	3
5	伊良部 由侑	4		2		
6	寺尾 杏	○ 8		4		4
7	吉田 亜美	0				1
8	上原 奈々	0				
9	豊里 みづき	○ 2		1		3
10	翁長 春香	○ 8		3	2	1
11	外間 美海	0				
12	長嶺 明	○ 12		4	4	4
13	屋良 美穂子	0				
14	上原 彩寧	0				
15	保坂 文菜	○ 6	1	1	1	3
16	金城 帆乃華	0				
17	上原 あかり	0				
18	佐久田 恋	0				
コーチ	金城 末美					
合計		51	1	19	10	19

【戦評】

全九州大会1回戦、福岡県1位精華女子対沖縄県2位糸満との対戦、精華女子のスターティングメンバーは、#4、#6、#7、#11、#14、糸満のスターティングメンバーは、#6、#9、#10、#12、#15で試合開始。第1Q、両チームともハーフコートマンツーマンでスタート。精華#4を中心とした早い展開に、なんとか食らいつこうとする糸満であったが、精華の厳しいディフェンスをなかなかこじ開けることができない。一方、精華は#6のインサイドを中心に得点を重ね、27対10でリードして第1Q終了。第2Q、精華はペイント内でポジションどりをする#6にパスを供給し続ける。糸満はファウルでしかそれを止められず、点差は開いていく。7分、精華スティールからの速攻が2本連続で決まったところで、糸満2度目のタイムアウト。タイムアウト明け、糸満#15の3ptsで反撃を開始するも、精華リバウンドからの速攻で#4のアシスト、続くブレイクでも#4のジャンプシュートが決まり、53対22で前半終了。第3Q、精華は#7のカットイン、#4のアシストから#6がゴール下でのポイントと連続得点でスタートすると、糸満は#12が2点を返す。途中から糸満はハーフコートの3-2ゾーンに変更するものの、73対28とリードを広げ、第3Q終了。第4Q、糸満はマンツーマンに戻す。さらに、得点後はオールコート1-2-1-1プレスでプレッシャーをかけ、精華のミス誘う。1分半、精華最初のタイムアウト。タイムアウト明け、糸満オールコートプレスからパススティール。ディフェンスからいい流れを掴み、得点を重ねる。3分半、78対41となったところで精華2度目のタイムアウト。その後は一進一退の攻防を続け87対51で試合終了。試合を通じて厳しいディフェンスを続け、インサイドで優位に立った精華女子が勝利を収めた。

【戦評記者】 三好 洋一郎
福岡県バスケットボール協会

第49回全九州高等学校バスケットボール春季選手権大会



会場	福岡市総合体育館	
日時	平成31年3月23日 (土) 10:30	
コート	Dコート	第2試合
カテゴリー	女子	1回戦
主審	古後 宏和	
第1副審	樋口 俊司	
第2副審	森山 知佳	

TEAM A		TEAM B															
熊本商業 87	<table border="0" style="margin: auto;"> <tr><td>20</td><td>1st</td><td>12</td></tr> <tr><td>14</td><td>2nd</td><td>16</td></tr> <tr><td>27</td><td>3rd</td><td>16</td></tr> <tr><td>26</td><td>4th</td><td>21</td></tr> <tr><td colspan="3">OT</td></tr> </table>	20	1st	12	14	2nd	16	27	3rd	16	26	4th	21	OT			鶴鳴学園長崎女子 65
20	1st	12															
14	2nd	16															
27	3rd	16															
26	4th	21															
OT																	
熊本2位		長崎1位															
○		●															

【BOXスコア】

TEAM A		熊本商業高等学校					
番号	選手名	得点	3P	2P	FT	反則	
4	岩下 千優	0				4	
5	村崎 羽蘭	5	1		2	4	
6	大石 歩優	9	3				
7	竹宮 愛理	0				1	
8	網川 日菜子	0					
9	田上 琴	0					
10	井上 璃々花	13	3	2		1	
11	山本 彩花	0					
12	亀井 彩乃	0					
13	後藤 咲花	0					
14	田中 瑞歩	0					
15	六田 祐花子	20	1	6	5	4	
16	松村 夏希	0					
17	吉田 新菜	20	4	3	2	4	
18	金森 ひびき	20		8	4	2	
コーチ	山下 史						
合計		87	12	19	13	20	

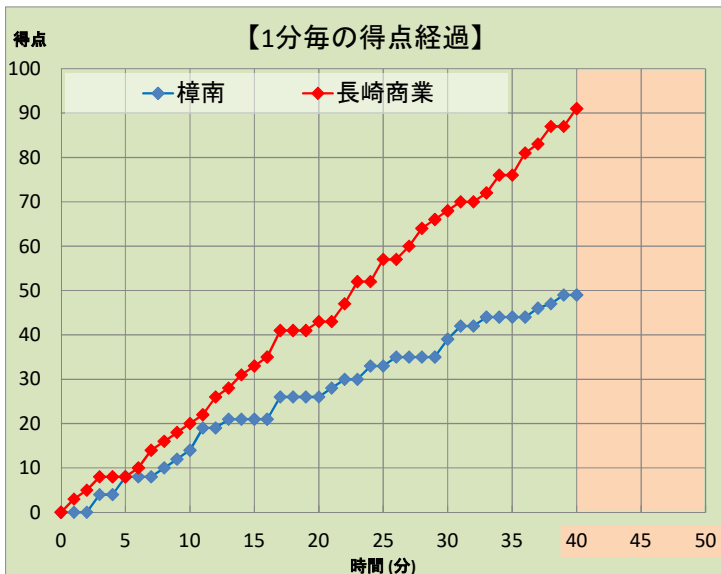
TEAM B		鶴鳴学園長崎女子高等学校					
番号	選手名	得点	3P	2P	FT	反則	
4	西 真成美	9	2	1	1	3	
5	若杉 衣歩	14	2	4		3	
6	梅本 華帆	3		1	1		
7	吉成 真尋	6	1	1	1	1	
8	徳永 明	9		3	3	2	
9	室野 圭珠葉	6	1	1	1	2	
10	鷲尾 優佑菜	8		3	2	4	
11	上野 華花	2		1		3	
12	金子 琉	0				1	
13	江頭 千遥	0					
14	尾崎 世玲奈	0					
15	古場 なつめ	0				2	
16	筒口 結衣	5	1	1		1	
17	柴原 由佳	3	1				
18	山下 優衣	0					
コーチ	三根 正美						
合計		65	8	16	9	22	

【戦評】

全九州大会1回戦、熊本県2位熊本商業対長崎県1位鶴鳴長崎女子との対戦、熊本商業のスターティングメンバーは、#4、#10、#15、#17、#18、鶴鳴長崎女子のスターティングメンバーは、#4、#5、#7、#10、#11で試合開始。第1Qお互いにハーフコートのマンツーマンディフェンスでスタート。両チームともに堅い守りで開始7分まで一進一退の攻防が続いたが熊本商業の#10、#6の3Pが連続で決まり20-12で第1Q終了。第2Q開始直後から鶴鳴長崎女子がオールコートでプレッシャーをかけ23-23の同点となる。対する熊本商業も落ち着きを取り戻し、要所で確実にシュートを決め34-28で前半終了。第3Q大分商業がドライブからインサイドでのシュートを立て続けに決め、40-30になったところで鶴鳴長崎女子がタイムアウト。オールコートプレスから2-3のゾーンディフェンスで流れを変えようとするが、熊本商業の#17の連続得点で点差が広がり61-44で第3Q終了。第4Q大分商業はポストアップから、鶴鳴長崎女子はペネトレイトから、互いに強くインサイドに侵入し得点を重ねる。点差が縮まらず、残り5分になったところで鶴鳴長崎女子がタイムアウトを取り、2-2-1のオールコートプレスを仕掛ける。しかし熊本商業の#18がインサイドを支配し、前半取っていたリバウンドが取れなくなり徐々に差が開いていく。鶴鳴長崎女子は最後まであきらめずオールコートプレスで仕掛け続けるが、最終的には87-65で試合終了。鶴鳴長崎女子がディフェンスやリバウンドで粘り強く戦ったが、後半熊本商業の#17、#18のオフェンス力がそれを上回り2回戦に進んだ。

【戦評記者】 中園 優一
福岡県バスケットボール協会

第49回全九州高等学校バスケットボール春季選手権大会



会場	福岡女子高等学校	
日時	平成31年3月23日 (土) 10:30	
コート	Gコート	第2試合
カテゴリー	女子	1回戦
主審	平安 拓也	
副審	安河内 直次	

TEAM A		TEAM B	
樟南	49	91	長崎商業
鹿児島3位			長崎4位
●			○

【BOXスコア】

TEAM A		樟南高等学校				
番号	選手名	得点	3P	2P	FT	反則
4	田畑 湧菜	◎ 4		2		1
5	藤原華子	○ 24		9	6	3
6	藤島茉莉	12	1	4	1	2
7	山崎理菜	○ 4		2		5
8	藤園まりな	0				
9	丸山瑠音	2		1		1
10	鎬流馬亜弓	1			1	
11	旭菜美	0				
12	池田直	0				
13	今村天乃	0				
14	櫻田瑞樹	○ 0				
15	島崎彩華	0				
16	大久保朱莉	2		1		1
17	古川春路	○ 0				
18	新穂千妃呂	0				
コーチ	山下 勇輝					
合計		49	1	19	8	13

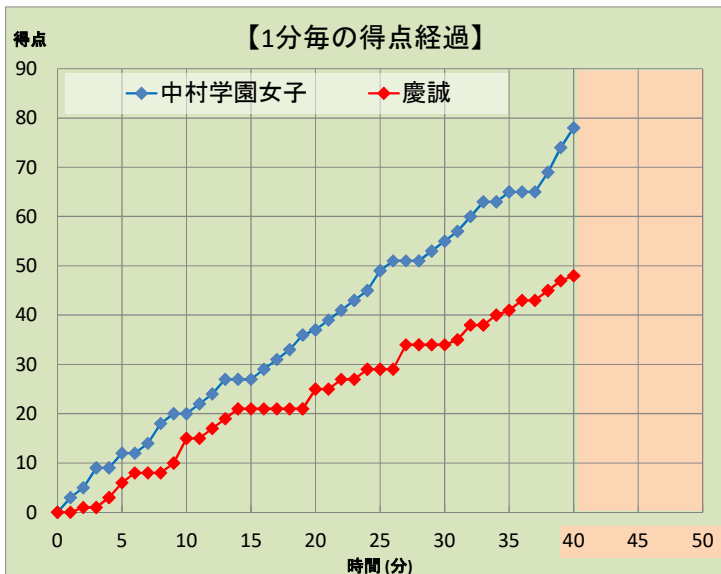
TEAM B		長崎商業高等学校				
番号	選手名	得点	3P	2P	FT	反則
4	今村 萌咲	◎ 6		3		2
5	布袋 海衣	○ 8		4		3
6	平野 朋	○ 2		1		
7	山下 千尋	18	4	3		2
8	宮邊 梨里香	2		1		1
9	林田 美咲	○ 2		1		
10	中尾 瞳子	○ 2		1		1
11	平井 咲妃	2			2	1
12	竹内 空玲愛	0				
13	浦川 愛加	5	1	1		1
14	金光 絢音	25		12	1	1
15	房野 七美	4		2		
16	藤本 さくら	2		1		1
17	山下 萌々花	7		3	1	1
18	嶋田 有里	6		3		2
コーチ	織田 功					
合計		91	5	36	4	16

【戦評】

全九州大会Bパート1回戦、鹿児島県3位樟南対長崎県4位長崎商業との対戦、樟南のスターティングメンバーは、#4、#5、#6、#9、#10、長崎商業のスターティングメンバーは、#4、#5、#7、#14、#17で試合開始。第1Q、両チームマンツーマンでスタート。長崎商業が#7の3ポイントで先制する。序盤は長崎商業は#14、#17の高さを生かした攻撃、樟南はドライブや#5のステップワークを中心に攻撃を展開する。サイズで劣る樟南はシュートがなかなか決まらず、第1Qは長崎商業が6点リードで終了する。第2Qは樟南ボールでスタート。立ち上がり#7のゴール下、#6の3ポイントで1点差に迫る。しかし長崎商業は#14がポストアップやオフェンスリバウンドから得点を重ね2桁リードを奪う。樟南も激しいディフェンスで応戦するが、シュートが決まらず長崎商業が43-26でリードして前半終了。第3Q、樟南は#4、#5、#6、#7、#9、長崎商業は#4、#5、#7、#14、#17でスタート。樟南はスクリーンからの合わせやドライブで反撃する。ディフェンスでは1-2-2ゾーンで相手のリズムを崩そうとするが、長崎商業は外角からのシュートを落ち着いて決め、#7の3ポイントで得点差を20点とする。樟南はタイムアウトで流れを変えようとするが、相手の高さの前にオフェンスミスを連発し、長崎商業の29点リードで3Q終了。第4Q、樟南ボールでスタート。#4、#6、#7が基点となってドライブから攻撃を展開。一方、長崎商業もベンチメンバーの奮闘でさらに点差を広げ、91-49で長崎商業が勝利。攻守にわたってサイズを活かした長崎商業が終始ゲームを支配した。

【戦評記者】 西川 崇
福岡県バスケットボール協会

第49回全九州高等学校バスケットボール春季選手権大会



会場	福岡女子高等学校	
日時	平成31年3月23日 (土) 10:30	
コート	Hコート	第2試合
カテゴリー	女子	1回戦
主審	有働 千夏	
副審	松本 欣明	

TEAM A			TEAM B		
中村学園女子	78		48	慶誠	
福岡4位				熊本3位	
○				●	

20 1st 15

17 2nd 10

18 3rd 9

23 4th 14

OT

【BOXスコア】

TEAM A		中村学園女子高等学校					
番号	選手名	得点	3P	2P	FT	反則	
4	岡村 愛海	◎ 4		2			
5	永野 未歩	2		1		1	
6	阿部 蘭	○ 11	1	4		3	
7	矢野 美咲	○ 8	1	2	1	2	
8	河野 里奈	0					
9	平岡 陽菜	○ 11		4	3		
10	橋爪 亜美	0					
11	松下 さくら	4		1	2	1	
12	浦野 来望	○ 2		1		1	
13	石田 千尋	7	1	2		1	
14	窪田 華音	3	1				
15	國井 仁奈梨	○ 20		8	4	3	
16	篠原 結生	2		1			
17	森貞 咲希	4		1	2	2	
18	佐世 菜奈子	0					
コーチ	平岡 雅司						
合計		78	4	27	12	14	

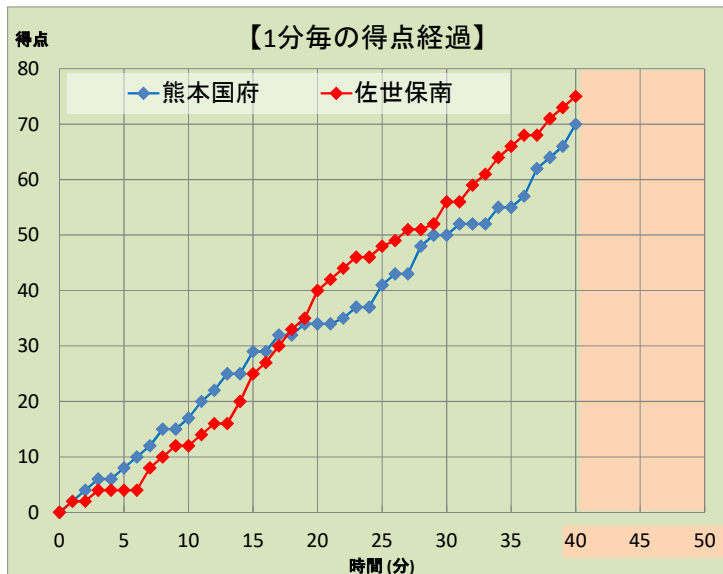
TEAM B		慶誠高等学校					
番号	選手名	得点	3P	2P	FT	反則	
4	田中 樹莉	◎ 8	2	1		3	
5	中原 光葉	○ 28	1	11	3	1	
6	津山 夏穂	0				1	
7	中村 まこ	0					
8	萩尾 花月	○ 1			1	4	
9	中村 玲奈	0				1	
10	城戸 聖	0				1	
11	岡本 彩愛	○ 2			2	2	
12	原田 稚子	0					
13	坂井 祐奈	1			1	2	
14	嶋村 佳奈	0				3	
15	徳永 美織	○ 6	2			1	
16	西坂 堇	2		1			
17	大石 愛佳莉	0					
18	小島 いずみ	0					
コーチ	伊藤 敏幸						
合計		48	5	13	7	19	

【戦評】

全九州春季大会1回戦、福岡県4位 中村学園女子高校 対 熊本県3位 慶誠高校 との対戦、中村のスターティングメンバーは、#6、#7、#9、#12、#15、慶誠のスターティングメンバーは、#4、#5、#8、#11、#15で試合開始。中村は序盤からフルコートマンツーマンでプレッシャーをかけ、試合を優位に進める。1Q4分、9対1となったところでタイムアウトを要求した慶誠が#15の3Pなどで反撃。しかし中村は、オフェンスリバウンドからのセカンドショットや鋭いドライブで流れを渡さず、第1Qを20対15と、5点リードで終了。第2Qも激しい攻防が続く。サイズに勝る中村のペイントアタックを慶誠が懸命に抑え、試合が膠着する。中村#13の活躍などで引き離そうとする中村に対し、慶誠#5がブザービーターで3Pを決め、37対25で前半を折り返した。第3Q、12点ビハインドを追いかける慶誠のショットがリングに嫌われ、逆に中村#15がセカンドショットを次々に沈め、3Q5分、45対29となる。その後もディフェンスの圧力を緩めない中村は、交代出場のベンチメンバーが躍動して点差を広げる。慶誠#4が3Pで応戦するが、55対34で第3Qを終えた。第4Qに入り、慶誠はフルコートマンツーマンに切り換え、#15の3Pで追い上げる。しかし、中村は意欲的なオフェンスリバウンドに飛び込み、セカンドショットを沈めて、主導権を渡さない。慶誠は#5のドライブなどで食い下がるが、フィジカルに勝る中村が試合展開を優位にコントロールし、48対78で試合終了となった。

【戦評記者】 川口 喜巨
福岡県バスケットボール協会

第49回全九州高等学校バスケットボール春季選手権大会



会場	福岡市総合体育館	
日時	平成31年3月23日 (土) 12:00	
コート	Cコート	第3試合
カテゴリー	女子	1回戦
主審	佐田 明美	
第1副審	萩尾 繁治	
第2副審	前田 隼大	

TEAM A		TEAM B															
熊本国府 70	<table border="0" style="margin: auto;"> <tr><td>17</td><td>1st</td><td>12</td></tr> <tr><td>17</td><td>2nd</td><td>28</td></tr> <tr><td>16</td><td>3rd</td><td>16</td></tr> <tr><td>20</td><td>4th</td><td>19</td></tr> <tr><td colspan="3">OT</td></tr> </table>	17	1st	12	17	2nd	28	16	3rd	16	20	4th	19	OT			75 佐世保南
17	1st	12															
17	2nd	28															
16	3rd	16															
20	4th	19															
OT																	
熊本1位		長崎2位															
●		○															

【BOXスコア】

TEAM A		熊本国府高等学校				
番号	選手名	得点	3P	2P	FT	反則
4	釜 有稀	○ 25	7	2		1
5	山下 莉乃	0				
6	右谷 朋菜	○ 14		7		2
7	野中 由姫乃	○ 8		3	2	2
8	出口 彩奈	0				
9	田上 ほしの	0				
10	後藤 友花	○ 18		6	6	4
11	村嶋 唯	0				2
12	上野 輝星	○ 5	1	1		3
13	佐川 真菜	0				
14	中里 蒼那	0				
15	青柳 風香	0				
16	重浦 佑香	0				
17	小林 菜々美	0				
18	横尾 すず	0				
コーチ	吉村 明					
合計		70	8	19	8	14

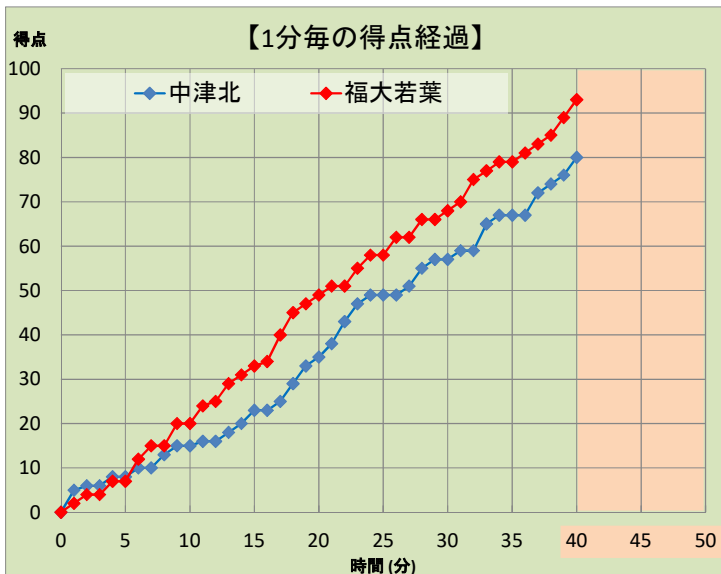
TEAM B		佐世保南高等学校				
番号	選手名	得点	3P	2P	FT	反則
4	松本 美優	○ 10		5		4
5	柴田 渚	○ 38	2	10	12	1
6	浦上 美優	4		2		1
7	永畑 結加	0				
8	堀川 珠生	0				
9	濱 夏姫	0				
10	山田 あすか	0				
11	岩谷 実怜	0				
12	村川 奈緒	0				
13	前川 萌恵	0				
14	神岳 阿魅	○ 4		2		2
15	田中美羽	○ 0				1
16	江口 未花	○ 11	3	1		1
17	久家 志織	8	2	1		
18	本山 小菜美	0				
コーチ	松本 清子					
合計		75	7	21	12	10

【戦評】

全九州大会1回戦、熊本県1位熊本国府対長崎県2位佐世保南との対戦。スターティングメンバーは、熊本国府#4、#6、#7、#10、#12、佐世保南#4、#5、#14、#15、#16で試合開始。第1Q両チームともハーフコートマンツーマンでスタート。佐世保南は熊本国府のフェンスにリズムがつかめず単調な1on1により苦しいシュートが続き加点できず佐世保南タイムアウト。その後佐世保南は強いプレッシャーからボールを奪い#14オフェンスリバウンドからの加点もあり第1Qを17-12で終了。第2Q熊本国府#12の3P、ドライブ、リバウンドショットにて加点。佐世保南は#4の3Pドライブ等のシュートまでいくもののゴールに嫌われ苦しい展開だが残り5分を過ぎ#17、#5のジャンプシュートで食らいつく。#17、#16の3Pで2点差。続けて#5の3P、カッティングからゴール下の2Pをきめ逆転。ドライブからファールカウントフリースロー。運動量を増やした佐世保南がリードし前半終了。第3Q熊本国府は#10のインサイドを軸に攻撃を重ね、アウトサイドからのカッティング、3Pで3点差までつめたところで佐世保南タイムアウト。熊本国府#10のポストアップからのカッティングによる合わせ、がたて続きに決まり6点差で第3Q終了。第4Qも熊本国府#10、インサイド、#4の3P、佐世保南#5の3Pと攻防が続くがなかなか点が縮まらず熊本国府タイムアウト。熊本国府はオールコートマンツーマンでプレッシャーをかける。#4の3P、#10のポストプレーで残り1分37秒5点差で佐世保南タイムアウト。佐世保南は#5のドライブ、ゴール下の加点。熊本国府ドライブと3Pで詰め寄るも届かず、落ち着いた佐世保南の攻撃には強いストレスを与えられず70-75で試合終了。佐世保南#5落ち着いた判断力、熊本国府#10の相手のディフェンスに応じたインサイドの活躍が目立ったゲームであった。

【戦評記者】 黒田 和利
福岡県バスケットボール協会

第49回全九州高等学校バスケットボール春季選手権大会



会場	福岡市総合体育館	
日時	平成31年3月23日 (土) 12:00	
コート	Dコート	第3試合
カテゴリー	女子	1回戦
主審	西村 かおり	
第1副審	隈元 ゆみこ	
第2副審	佐多 裕樹	

TEAM A			TEAM B																	
中津北	80	<table border="0" style="font-size: small;"> <tr><td>15</td><td>1st</td><td>20</td></tr> <tr><td>20</td><td>2nd</td><td>29</td></tr> <tr><td>22</td><td>3rd</td><td>19</td></tr> <tr><td>23</td><td>4th</td><td>25</td></tr> <tr><td colspan="3">OT</td></tr> </table>	15	1st	20	20	2nd	29	22	3rd	19	23	4th	25	OT			93	福大若葉	福岡2位
15	1st	20																		
20	2nd	29																		
22	3rd	19																		
23	4th	25																		
OT																				
大分1位																				
●				○																

【BOXスコア】

TEAM A		中津北高等学校					
番号	選手名	得点	3P	2P	FT	反則	
4	戸高 千怜	◎ 23	3	4	6	5	
5	工藤 佑美	○ 11	1	3	2	5	
6	和工田乃愛	○ 18		8	2	2	
7	木村 美月	○ 3	1			5	
8	永添ひなの	0				1	
9	木下 菜月	○ 17		8	1	2	
10	大野 瑠里	4		2		2	
11	山本 葉遠	4		2		3	
12	田中 晴奈	0					
13	岡方 美優	0					
14	古林 聖奈	0					
15	森田 月海	0					
コーチ		大津留 礎					
合計		80	5	27	11	25	

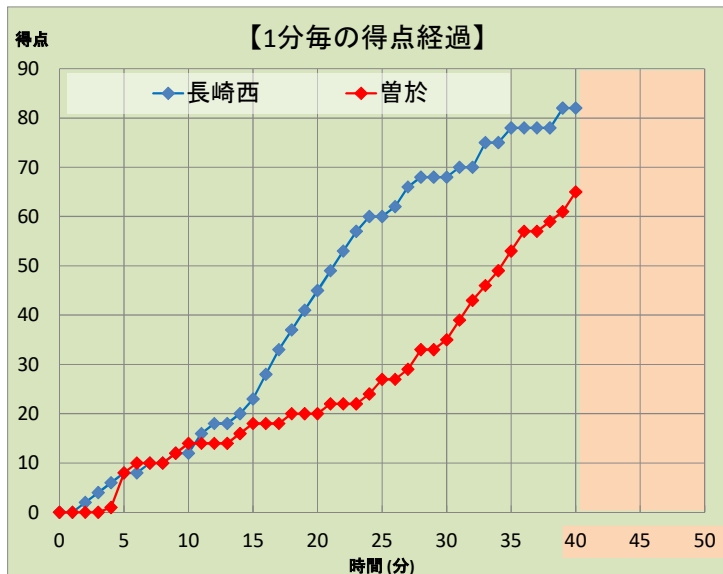
TEAM B		福大若葉高等学校					
番号	選手名	得点	3P	2P	FT	反則	
4	中嶋 ゆめ	◎ 7	1	2		2	
5	永野 真光	○ 12	1	3	3	5	
6	吉岡 柚葉	0					
7	幸丸 嘉乃	0					
8	白土 友恵	8		3	2		
9	留森 杏実	○ 23		8	7	1	
10	川上 楓華	0					
11	磯野 志歩	○ 5		2	1	4	
12	田代 沙也佳	0					
13	下地 美和	0					
14	和田 春菜	12		5	2	1	
15	中村 愛結	○ 26		10	6	4	
18	船橋 茉生	0					
コーチ		池田 憲二					
合計		93	2	33	21	17	

【戦評】

全九州大会1回戦、大分県1位中津北対福岡県2位福大若葉の対戦、中津北のスターティングメンバーは、#4、#5、#6、#7、#9、福大若葉のスターティングメンバーは、#4、#5、#9、#11、#15で試合開始。第1Q序盤、中津北は#9のドライブや#5のミドルで加点、福大若葉は#15のゴール下を中心に攻めるが、互いに厳しいディフェンスと確実なリバウンドで、拮抗した状態に。1Q終盤、中津北がゾーンプレスを仕掛けるも#15の落ち着いたプレーで加点し15-20と福大若葉5点リードで第1Q終了。第2Q、まずは福大若葉が#11の速攻で先制して流れを作り、フリースローや#5のゴール下でじわじわと点差を広げ始める。中津北は#4の3ポイントや#6、#9の連続得点で対抗するもペイント内の激しいディフェンスに苦戦し得点を伸ばせない。2Q後半、福大若葉がフリースローや#8の3ポイントなどでリードを広げて35-49で前半終了。第3Q、中津北が#4の2連続3ポイントと#9のドライブで一気に8点差まで縮め反撃開始。その後も#6のゴール下などで必死の追い上げを見せるが、福大若葉も#9、#11、#14の得点ですぐに取り返す展開に。互いに一歩も引かず第3Qは57-68で終了。第4Q序盤、福大若葉が#9の連続得点で点差を16点に広げる。しかし中津北も#9のドライブで加点し対抗する。第4Q残り2分、中津北は#6、#9、#10の得点で9点差まで追いつけるが、福大若葉も落ち着いたプレーで確実に得点し試合終了。80-93で福大若葉の勝利。両チームとも5ファウルでの退場者を出すなど互いに譲らない激しいゲーム展開になったが、ゴール下やフリースローなど確率の高いシュートを着実に積み重ねた福大若葉が中津北を下し、2回戦に進出した。

【戦評記者】 増永 洋祐
福岡県バスケットボール協会

第49回全九州高等学校バスケットボール春季選手権大会



会場	福岡女子高等学校	
日時	平成31年3月23日 (土) 12:00	
コート	Gコート	第3試合
カテゴリー	女子	1回戦
主審	中島 裕貴	
副審	佐藤 洋平	

TEAM A			TEAM B																	
長崎西	82	<table border="1" style="font-size: small;"> <tr><td>12</td><td>1st</td><td>14</td></tr> <tr><td>33</td><td>2nd</td><td>6</td></tr> <tr><td>23</td><td>3rd</td><td>15</td></tr> <tr><td>14</td><td>4th</td><td>30</td></tr> <tr><td colspan="3">OT</td></tr> </table>	12	1st	14	33	2nd	6	23	3rd	15	14	4th	30	OT			65	曾於	鹿児島4位
12	1st	14																		
33	2nd	6																		
23	3rd	15																		
14	4th	30																		
OT																				
○				●																

【BOXスコア】

TEAM A		長崎西高等学校					
番号	選手名	得点	3P	2P	FT	反則	
4	木村 織媛	◎ 8		4		1	
5	齋藤 明日香	○ 13	3	2		3	
6	古賀 美波	2		1		3	
7	岩本 ひかり	○ 10		5			
8	田崎 彩夏	0				2	
9	清水 英	4		2			
10	永橋 優夏	○ 21	1	9			
11	福島 夢菜	2		1			
12	寺田 香菜実	○ 8		4		3	
13	大野 華	0					
14	林田 あかり	5		2	1	1	
15	堀江 芳	2		1			
16	鮎瀬 恭子	0					
17	田嶋 小雪	4		2		1	
18	磯部 楓乃	3		1	1		
コーチ	溝江 和樹						
合計		82	4	34	2	14	

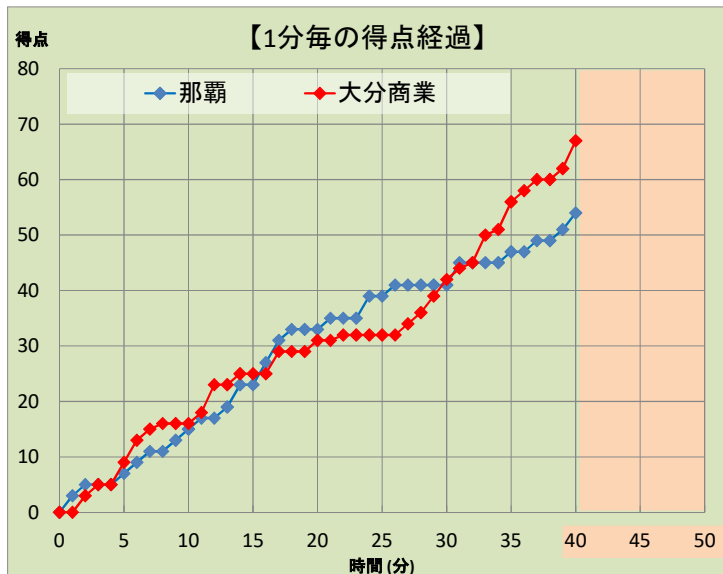
TEAM B		曾於高等学校					
番号	選手名	得点	3P	2P	FT	反則	
4	小林 穂乃加	◎ 9	1	2	2	3	
5	米永 優李	○ 13	1	4	2		
6	東空比野 みく	○ 14		5	4	2	
7	吉原 樹里	4		2		1	
8	寶田 真琴	9	1	2	2	1	
9	大神 かるら	○ 12		6		2	
10	泰島 優美	0					
15	西川 志織	○ 4		2		1	
コーチ	富永 明子						
合計		65	3	23	10	10	

【戦評】

全九州大会1回戦、長崎県3位長崎西対鹿児島県4位曾於との対戦、長崎西のスターティングメンバーは、#4、#5、#7、#10、#12、曾於のスターティングメンバーは、#4、#5、#6、#9、#15で試合開始。第1Q～立ち上がりは両チームとも硬く動きはいいが思うようにシュートが決まらずトランジションゲームが始まる。4分の時点で8対8で手に汗握る攻防が続く。曾於#9が#5に変わって出場。#17が#6に変わって登場。依然、競り合いが続く。第1Q終了時、12対14曾於がリード。第2Q～依然攻防が続く。ディフェンスはどちらもマンツーマンで守り、リバウンドからの速い攻撃のスタイルで、同じタイプのチームである。#5の3Pなどで少しずつ長崎西がリードし始める。前半のこり2分40秒の時点で曾於がタイムアウト、この時点で17点差がついて長崎西リード。その後、長崎西がオールコートマンツーマンでプレッシャーをかけ、得点を重ねる。前半45対20で長崎西がリードで終了。第3Q～後半始まってからも佐賀西はオールコートでマンツーマンディフェンスをして曾於に思うように攻撃させない。長崎西#10に3Pなどでリードを広げていく。#8の3Pなどで曾於もくいさがるが点差は徐々に広がっていく。第3Q終了時、長崎西68対35曾於。第4Q～曾於#9のドライブが冴え得点を重ねるが長崎西も交代メンバー#8#15#16#17#18で応戦。点数は徐々にちじまるが、長崎西も得点を重ねる。82対65で長崎西勝利で試合終了。曾於もファイトあふれる高校生らしい澆刺としたゲームであった。

【戦評記者】 内田 二郎
福岡県バスケットボール協会

第49回全九州高等学校バスケットボール春季選手権大会



会場	福岡女子高等学校	
日時	平成31年3月23日 (土) 12:00	
コート	Hコート	第3試合
カテゴリー	女子	1回戦
主審	進野 寧	
副審	池田 美紗子	

TEAM A		TEAM B	
那覇	54	67	大分商業
沖縄4位			大分3位
●			○

15 1st 16

18 2nd 15

8 3rd 11

13 4th 25

OT

【BOXスコア】

TEAM A		那覇高等学校					
番号	選手名	得点	3P	2P	FT	反則	
4	宮城 七旺	◎	9	1	3		
5	嘉数 葉月	○	6		3	5	
6	新井 悠香	○	6		3	4	
7	西原 れいあ	○	4		2	2	
8	島袋 結衣	○	2		1	1	
9	上原 翼		0				
10	宮城 彩名		9	1	3	4	
11	儀保 綾音		0				
12	大城 さくら		6		3	1	
13	西原 理花		8		4	2	
14	上原 葵		0				
15	金城 ひかる		2		1		
16	仲間 智穂		2		1	1	
17	金城 夏鈴		0				
18	森田小晴		0				
コーチ	屋 嘉 謙 呉						
合計			54	2	24	0	20

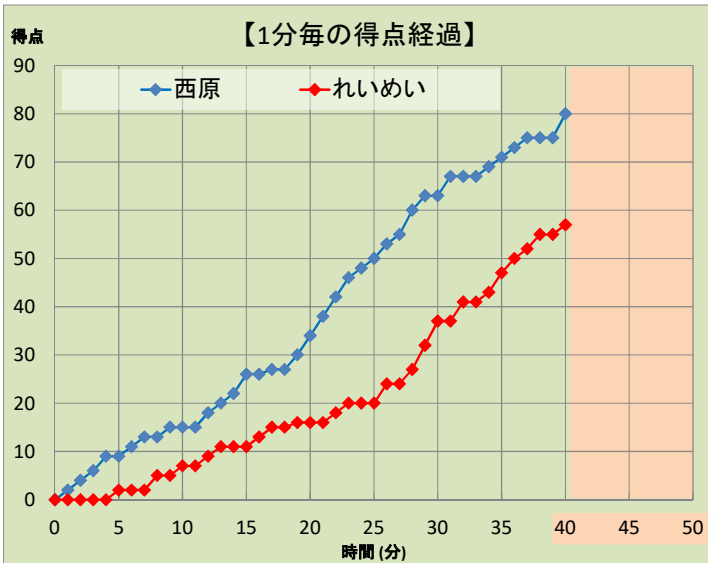
TEAM B		大分商業高等学校					
番号	選手名	得点	3P	2P	FT	反則	
4	重井 美寿樹	◎	5		2	1	2
5	久世 愛華	○	8		2	4	3
6	平野 優芽	○	2		1		
7	石井 佑佳		0				
8	田島 紅葉		2		1		
9	釘宮 結	○	21	3	4	4	3
10	高 朋子	○	16		6	4	2
11	加崎 和		13	2	1	5	1
12	高橋 あかね		0				
13	亀井 彩華		0				
14	高野 愛由		0				
15	有松 京香		0				
16	富田 菜々子		0				
17	川元 みら乃		0				
18	塩田 夢佳		0				
コーチ	田北 俊郎						
合計			67	5	17	18	11

【戦評】

全九州大会Bパート1回戦、沖縄県4位那覇対大分県3位大分商業との対戦、那覇のスターティングメンバーは、#4、#5、#6、#7、#8、大分商業は、#4、#5、#6、#9、#10で試合開始。第1Q序盤はロースコアの展開に。サイズで勝る大分商業はセンター#10にボールを集め、那覇のファウルを誘う。那覇も#6のミドルシュートや鋭いドライブなどで対抗する。少しずつゲームは速い展開へと変わっていき、那覇は堅いディフェンスから相手のターンオーバーを誘い、ファストブレイクで少しずつ追いつき、15-16の大分商業1点リードで第1Qを終えた。第2Qは一進一退の攻防に。那覇は中のスペースを広くとり、ドライブやカッティングで得点を狙う。対する大分商業はインサイドへのパスが封じられ苦しいものの、外からのシュートやドライブ、リバウンドからのセカンドショットで相手の激しいディフェンスを攻める。第2Q中盤でついに那覇が逆転、その後は那覇が得点すれば大分商業が決め返す展開となり、33-31の那覇2点リードで前半を終了した。第3Qも序盤は膠着した状態からスタートしたが、那覇は積極的にダブルチームを仕掛けて相手のミス誘い、攻めではピックアンドロールからのミドルシュートなどで着実に2点ずつ積み重ねていく。第3Q残り4分半、那覇がリードを7点に広げたところで大分商業タイムアウト、ディフェンスをオールコートに切り替えるところから猛追。第3Q終了間際に大分商業#11の3ptsで再逆転し、41-42の大分商業1点リードで最終Qへ突入となった。第4Qに入ると、大分商業の高さを生かしたディフェンスが機能し、ターンオーバーからブレイク、#9の3ptsなどでリードを広げていく。那覇はオールコートディフェンスを仕掛けて追いつけるが、大分商業がゴール下を支配して着実に得点を重ね、54-67の13点差で試合終了。大分商業が勝利した。

【戦評記者】 飯田 啓介
福岡県バスケットボール協会

第49回全九州高等学校バスケットボール春季選手権大会



会場	福岡市総合体育館	
日時	平成31年3月23日 (土) 13:30	
コート	Cコート	第4試合
カテゴリー	女子	1回戦
主審	岩尾 圭治	
第1副審	和田 敏文	
第2副審		

TEAM A			TEAM B		
西原	80	15 1st 7 19 2nd 9 29 3rd 21 17 4th 20 OT	れいめい	57	
沖縄1位			鹿児島2位		
○			●		

【BOXスコア】

TEAM A		西原高等学校				
番号	選手名	得点	3P	2P	FT	反則
4	宮里 野乃子	11	2	2	1	3
5	高江洲 祭	3	1			
6	根間 菜香	0				1
7	知名 祐里	21	1	7	4	1
8	具志堅 夏琳	15		6	3	3
9	川崎 心華	0				
10	内間 星奈	0				
11	呉屋 果鈴	0				2
12	照屋 海来	0				2
13	金城 歩里	6		3		
14	仲本 茜理	2			2	
15	小渡 柚奈	4		2		
16	知花 彩海	0				
17	古堅 沙莉	18		9		1
18	仲地 梨浦	0				
コーチ	崎浜 秀勝					
合計		80	12	58	10	13

TEAM B		れいめい高等学校				
番号	選手名	得点	3P	2P	FT	反則
4	徳田 梨愛	14	4	1		
5	中袴田 実侑	0				1
6	徳田 梨恋	0				
7	平原 美星	0				
8	家後 ひかり	7	1	2		3
9	福元 里莉奈	7		3	1	3
10	川路 悠佳	7		3	1	3
11	竹内 優奈	0				
12	徳永 藍里	0				
13	本田 志保	0				
14	長嶺 朱莉	0				1
15	村田 弥愛	8		3	2	1
16	窪田 奈桜	14		7		
コーチ	松永 真至人					
合計		57	15	38	4	12

【戦評】

全九州大会1回戦、沖縄県1位西原対鹿児島県2位れいめいととの対戦。西原のスターティングメンバーは、#4、#7、#8、#12、#14、れいめいのスターティングメンバーは、#4、#8、#9、#10、#16で試合開始。

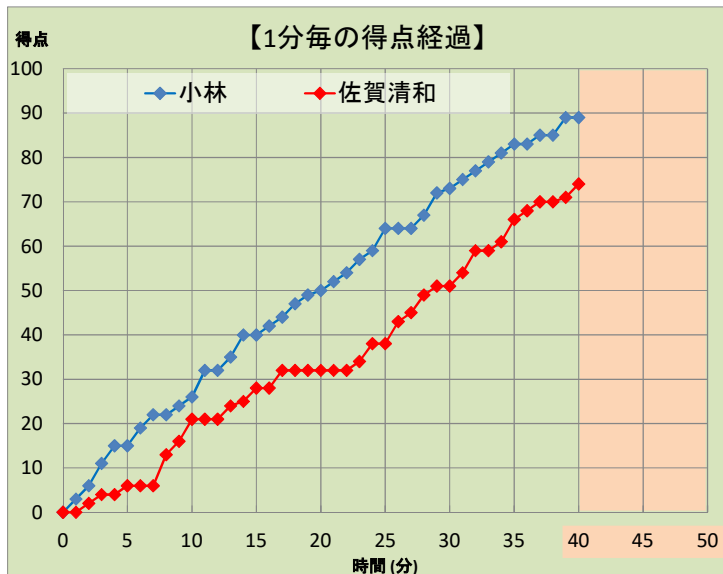
第1Q両チームマンツーマンでスタート。西原はオールコートから激しいプレッシャーからブレイク。ハーフコートでも豊富な運動量でれいめいのペースをつかませない。れいめいは単調な3Pが続くなか#15のポストプレーでやっと加点するも点差は広がり13-2の11点差でタイムアウト。その後れいめいは#8の3P、#16のジャンプシュートをきめるが7-15の8点差で第1Q終了。

第2Q西原の運動量は変わらずブレイク、ジャンプシュートで加点。れいめいは#15、#16の高さを狙ったポストプレーが4ゴールつづき10点差でついていく。第2Q残り2分、西原のミスが続くも、その後のディフェンス、オフェンスリバウンドと集中力を絶やさず前半を34-16の18点西原リードで折り返す。第3Q れいめいは西原のオールコートプレッシャーに慣れはじめ、パスを中心にボールを運ぶものの楽なシュートを打たせてもらえず点が伸びないなか、西原は前半と変わらず、ダブルチームから隙を見たスティールが続き第3Q残り6分で28点リードしたところで3人交代。さらに小柄な控え選手のチームになったが勢いは変わらず れいめいは#15のインサイド中心に攻め同様にオールコートで対抗するも西原の速さについていけず63-37の26点差で第3Q終了。

第4Q れいめいは#4の3P、#10#15のインサイドで加点。西原は控え選手の出場する中そのスタイルは変わらず、20点差まで詰めたが終始攻撃を続けた。小柄なチームである西原の、スピーディで力強く巧みな1on1の能力が光るゲームであった。

【戦評記者】 黒田 和利
福岡県バスケットボール協会

第49回全九州高等学校バスケットボール春季選手権大会



会場	福岡市総合体育館	
日時	平成31年3月23日 (土) 13:30	
コート	Dコート	第4試合
カテゴリー	女子	1回戦
主審	原田 拓朗	
第1副審	副島 亜紀子	
第2副審	平田 理紗	

TEAM A			TEAM B		
小林	89		74	佐賀清和	
宮崎2位				佐賀1位	
○				●	

【BOXスコア】

TEAM A		小林高等学校					
番号	選手名	得点	3P	2P	FT	反則	
4	宮崎 叶	9	3			1	
5	老山 花歩	○ 14	4	1		4	
6	フェスターガード ヤヤ アマンドラ	◎ 16		8		1	
7	園田 夏菜	○ 6		3			
8	坂本 光奈美	0					
9	黒木 和花	2		1		1	
10	菅野 伊万里	2		1			
11	橋本 佳歩	0				3	
12	古閑 万優子	10		5		3	
13	松原 志帆	○ 10	2	2		2	
14	江頭 璃梨	○ 6	1	1	1	4	
15	高橋 小春	0					
16	平田 莉奈	6	2				
17	川合 希朱	8		3	2	1	
18	田上 凜	0					
コーチ	前村 かおり						
合計		89	12	25	3	20	

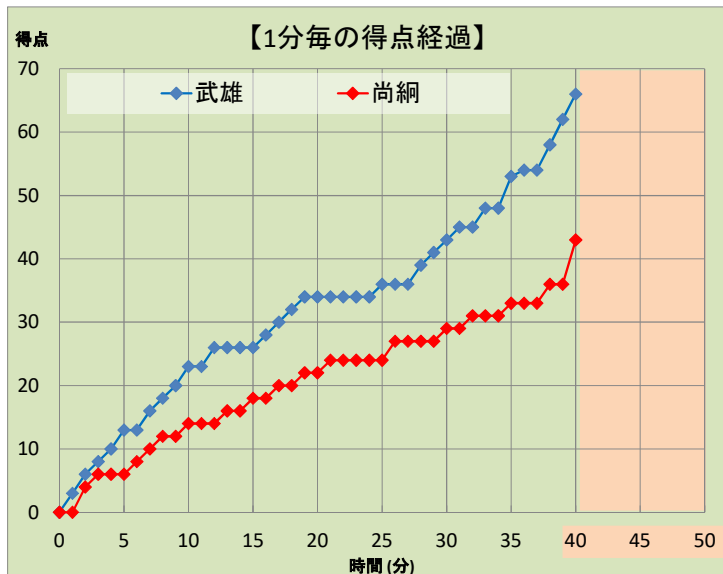
TEAM B		佐賀清和高等学校					
番号	選手名	得点	3P	2P	FT	反則	
4	渡辺 帆香	8	1	2	1	1	
5	佐久間 彩奈	○ 12		4	4	3	
6	渡邊 里佳	◎ 5	1	1		3	
7	脇山 瑠璃	0				2	
8	大串 姫花	0					
9	牟田口 真実	0					
10	柳堀 友里	0					
11	深川 ゆめ	○ 6		3		1	
12	森田 菜郁	0					
13	杉山 さくら	0					
14	田中 瑠乃	0					
15	北川 鈴菜	○ 27	2	6	9	3	
16	谷口 桜華	0					
17	山下 あまね	4		2			
18	村岡 紗衣	○ 12	2	3		3	
コーチ	貞松 大						
合計		74	6	21	14	16	

【戦評】

全九州大会1回戦、宮崎県2位小林対佐賀県1位佐賀清和との対戦、小林のスターティングメンバーは、#5、#6、#7、#13、#14、佐賀清和のスターティングメンバーは、#5、#6、#11、#15、#18で試合開始。第1Qディフェンスは両チームともにマンツーマン。序盤ディフェンスリバウンドから#6が速攻に走りレイアップを決め小林が流れを掴む。13-4になったところで佐賀清和がタイムアウト。佐賀清和は小林の高いフィジカルに守られ外角のシュートを打たされ、なかなか得点することができなかったが、激しいディフェンスから速攻に持ち込み得点を重ね、終了間際に#15の3Pが決まり26-21で終了。第2Q開始直後、小林の#16、#4の3Pが2本ずつ連続で決まり38-24とリードを広げる。佐賀清和も#11のオフェンスリバウンドや#15のインサイドへのドライブで反撃し一進一退の展開が続く。終盤、小林がオフェンスリバウンドから得点を重ね50-32で前半終了。第3Q小林の#6に対して佐賀清和がダブルチームでディフェンスをしかける。しかしフリーになった周りの選手を上手く使いながら得点を重ね、26点差がついた残り5分で佐賀清和がタイムアウト。タイムアウト後、小林は#6がベンチに下がり、オフェンスの決定力が下がった。その間、佐賀清和がインサイドを中心としたオフェンスと、オールコートプレスから得点を重ね一度は17点差まで追いつけるも、小林に要所で3Pを決められ73-51で第3Q終了。第4Q開始直後、小林がメンバーチェンジしフレッシュなメンバーがコートに入る。佐賀清和は#15を中心に攻め残り3分で15点差まで追いつく。しかし反撃もここまでで最後は89-74で試合終了。#6を中心としたオフェンスで佐賀清和を破り、小林が2回戦に駒を進めた。(最後にまとめを入れる)

【戦評記者】 中園 優一
福岡県バスケットボール協会

第49回全九州高等学校バスケットボール春季選手権大会



会場	福岡女子高等学校	
日時	平成31年3月23日 (土) 13:30	
コート	Gコート	第4試合
カテゴリー	女子	1回戦
主審	境 秀教	
副審	前橋 裕樹	

TEAM A			TEAM B		
武雄	66		43	尚綱	
佐賀3位				熊本4位	
○				●	

23	1st	14
11	2nd	8
9	3rd	7
23	4th	14
OT		

【BOXスコア】

TEAM A		武雄高等学校					
番号	選手名	得点	3P	2P	FT	反則	
4	草場 里菜	◎ 24	5	4	1	3	
5	森 陽海	○ 3		1	1	1	
6	谷中 佑理子	0					
7	永末 美保	0					
8	井上 虹葉	0					
9	野田 樹未	10		4	2	2	
10	安藤 優李	0					
11	西山 亜佐	○ 13	2	3	1	1	
12	塚本 愛	0				1	
13	中尾 華子	0					
14	宮崎 梨音	0					
15	秀島 萌夏	0					
16	山口 美弥	○ 2		1		2	
17	江島 菜々子	0					
18	小田 英恵	○ 14		7		3	
コーチ	武藤 広樹						
合計		66	7	20	5	13	

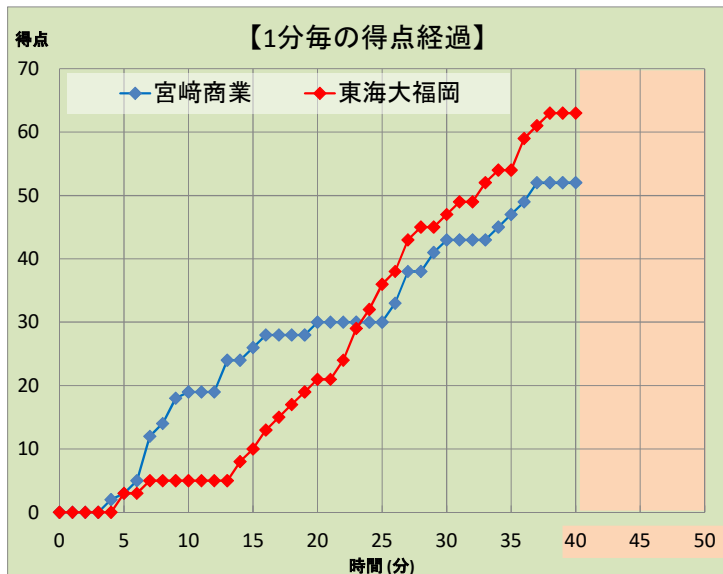
TEAM B		尚綱高等学校					
番号	選手名	得点	3P	2P	FT	反則	
4	古閑 礼菜	◎ 3	1			3	
5	澤田 知里	0					
6	百田 笑菜	○ 14		4	6	2	
7	松藤 ゆきの	○ 5		2	1	1	
8	高橋 麗	0					
9	川元 莉穂	0					
10	丸山 喜久乃	0				2	
11	成瀬 杏那	0					
12	武 ほの花	○ 9		4	1	3	
13	前田 萌々香	0					
14	黒瀬 颯稀	6		3		1	
15	西生 灯里	0				1	
16	多良木 美帆	0					
17	吉田 美由	○ 6		1	4	5	
18	佐野 友紀	0					
コーチ	豊田 恭英子						
合計		43	1	14	12	18	

【戦評】

全九州大会Bパート1回戦、佐賀県3位武雄対熊本県4位尚綱との対戦、武雄のスターティングメンバーは、#4、#5、#11、#16、#18、尚綱のスターティングメンバーは、#4、#6、#7、#12、#17で試合開始。第1Q、両チームマンツーマンディフェンスでスタート。武雄が#4の3ポイントで先制するが、尚綱も#4の3ポイントで反撃。先にペースを握ったのは武雄。高い位置からのディフェンスプレッシャーと速攻で得点を重ねる。尚綱はタイムアウトを取り、速いパス回しとスクリーンを絡めたムービングプレーからペースを掴もうとするが、武雄#4の3ポイントがブザービーターで決まり、23-14で武雄がリードして1Q終了。第2Q、尚綱がディフェンスをゾーンに変えると武雄の得点が止まる。この間尚綱は#12、#14のインサイドで加点して点差を詰めるが、大事なところでシュートを決めきれない。逆に武雄は#9、#18がオフェンスリバウンドから得点を決め、34-22で武雄がリードして前半終了。第3Q、武雄は、#4、#5、#9、#11、#18、尚綱は#4、#6、#7、#12、#17でスタート。序盤は両チームなかなかシュートが決まらなかったが、尚綱が#6のバスケットカウントとフリースローで点差を9点とし、武雄がタイムアウト。落ち着きを取り戻した武雄は、#11の3ポイント、#18のゴール下、#5のミドルシュートが立て続けに決まり、43-29で武雄がリードして3Q終了。第4Q、武雄ボールでスタート。武雄は#9で得点するが、尚綱も#14で得点。ここで武雄#4がこの日4本目の3ポイントを決め、点差を17点とする。尚綱も必死のディフェンスで抵抗するが、武雄#9、#18が粘り強くゴール下を沈め、66-43で武雄が勝利した。尚綱は攻守にわたってチーム一丸となって奮闘したが、シュートの精度を欠いた。

【戦評記者】 西川 崇
福岡県バスケットボール協会

第49回全九州高等学校バスケットボール春季選手権大会



会場	福岡女子高等学校	
日時	平成31年3月23日 (土)	13:30
コート	Hコート	第4試合
カテゴリー	女子	1回戦
主審	甲木 善徳	
副審	井上 翼	

TEAM A		TEAM B																				
宮崎商業 52	<table border="0" style="font-size: 2em;"> <tr><td>{</td><td>19</td><td>1st</td><td>5</td></tr> <tr><td></td><td>11</td><td>2nd</td><td>16</td></tr> <tr><td></td><td>13</td><td>3rd</td><td>26</td></tr> <tr><td></td><td>9</td><td>4th</td><td>16</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>OT</td><td></td></tr> </table>	{	19	1st	5		11	2nd	16		13	3rd	26		9	4th	16			OT		63 東海大福岡
{	19	1st	5																			
	11	2nd	16																			
	13	3rd	26																			
	9	4th	16																			
		OT																				
宮崎4位		福岡3位																				
●		○																				

【BOXスコア】

TEAM A		宮崎商業高等学校					
番号	選手名	得点	3P	2P	FT	反則	
4	鬼塚 小雪	◎ 14	1	2	7	1	
5	田之上 涼香	○ 5			5	3	
6	日高 馨	○ 10		4	2	3	
7	内倉 穂香	○ 10		5		5	
8	日高 美祐	6	2			1	
9	大野 紗夜	0					
10	萩元 磨	0					
11	桑野 彩夏	○ 7	1	2		3	
12	渡邊 彩花	0					
13	安達 詩音	0					
14	久保 美陽	0					
15	長谷川 千鶴	0					
16	中間 莉子	0					
17	本田 優花	0					
18	濱砂 晴香	0					
コーチ	大浦 慎一						
合計		52	4	13	14	16	

TEAM B		東海大福岡高等学校					
番号	選手名	得点	3P	2P	FT	反則	
4	緒方 憊乃	◎ 8		3	2	4	
5	田口 璃々花	0					
6	島 濤七	4		1	2	1	
7	島崎 桜	○ 9		4	1	3	
8	井浦 菜依	0					
9	新原 穂ノ香	0					
10	稲福 七海	○ 9	1	3		2	
11	内藤 唯	○ 24	5	3	3	1	
12	竹元 琴音	4		2		3	
13	中山 涼	0					
14	榊 歩純	0					
15	木寺 智美	○ 3		1	1	2	
16	松本 舞星	○ 2		1		4	
17	山口 サクラ	0					
18	石川 さくら	0					
コーチ	宮崎 優介						
合計		63	6	18	9	20	

【戦評】

全九州春季大会1回戦、宮崎県4位 宮崎商業 対 福岡県3位 東海大福岡 との対戦。宮崎商業のスターティングメンバーは、#4、#5、#6、#7、#11、東海大福岡のスターティングメンバーは、#7、#10、#11、#15、#16で試合開始。両チームともスピーディーな攻撃を展開するが、互いに激しいマンツーマンディフェンスで相手に得点を許さず、3分半スコアレスのまま動かない。重い展開を最初に破ったのは、宮崎商業#11。攻めあぐねる東海大福岡に対し、鋭いドライブや#6のインサイドショット、#11の3Pなどで加点した宮崎商業が19対5で第1Qを終えた。第2Qに入り、東海大福岡はマッチアップゾーンで宮崎商業のリズムを崩すが、得点をあげることができない。宮崎商業は苦しみながらも、要所で#7の速攻、#4の3Pが決まり、24対5と突き放す。ここから東海大福岡は#11、#12が得点をあげ、激しいディフェンスで相手のショットクロックバイオレーションを誘発して流れを変えることに成功。じわじわと得点差が縮まり、30対21、宮崎商業9点リードで前半が終了した。第3Qに入ると宮崎商業がオフェンスリズムを失いターンオーバーが続く。東海大福岡#11の3P、#6のゴール下などで加点し、3Q5分に30対31と逆転。緊迫感が高まる中、一進一退の激しい攻防が続く、43対47、東海大福岡4点リードで最終Qを迎えた。第4Q、東海大福岡#11、#10の得点で43対52と点差が広がり、宮崎商業はタイムアウトで流れを変える。しかし、勢いに乗る東海大福岡は、#4、#10の速攻などで流れを引き戻し、主導権を渡さない。あきらめない宮崎商業は懸命に食いが下がり反撃するが、東海大福岡は、24得点を挙げた#11の活躍などで宮崎商業を振り切り、52対63で試合終了。

【戦評記者】 川口 喜巨
福岡県バスケットボール協会